

2020 vol.206 OCT

# SOUSAKU

創作手工芸



昭和の思い出作品

公益財団法人日本手工芸作家連合会

## ご挨拶

公益財団法人日本手工芸作家連合会  
会長 花村 邦 昭



コロナ・パンデミックの下、暫く不自由な生活を強いられて参りましたが、その間みなさまにおかれましては如何お過ごしでございましたでしょうか、お見舞い申し上げます。わが連合会も緊急事態宣言の影響で第53回「創作展」の中止やむなきに至りましたのはまことに残念でございました。楽しみにしておられたみなさまのご期待に添い得ず申し訳なく存じております。

先進諸外国に比べわが国がコロナ感染拡大を一定程度に抑えることができたのは、長年にわたって築きあげられてきたわが国独特の「清潔文化」のおかげだと言われています。家に上がる時は靴を脱ぐ、食べものは手で直接触れずお箸を使う、食前には手洗いを励行し食卓にはお絞りが添えられる、挨拶するにも握手やハグなど直接相手の体に触れることはできるだけ避ける、日本家屋も風通しのよさを重視して建てられる、等々わが国の「生活文化」には、はじめから「清潔」を重んじ「三密」を避ける工夫がなされているというわけです。

日本の「生活文化」にはこのほかにまだいろいろな特性があります。「作為を退けてありのままを尊ぶ」、「流れのなかにある一瞬の輝きを見逃さない」、「すべては繋がっていることを忘れず関係性を大事にする」、「全体の調和と互いの

協調を心がける」などそれです。いわばその集約ともいえるのが「もてなし文化」です。「手工芸文化」はその「もてなし文化」の尤なるものです。今回のコロナ騒動でマスク不足が問題になったときわが連合会の有志のみなさまが手工芸の粋を活かした綺麗な布製マスクを介護施設に大量に寄付されたのもこの「もてなし文化」の一環だと言ってよいと思います。

今回のコロナ騒動で改めて気づかされたことがいくつかあります、

- 一、われわれは「公共生活圏」の住人たる「公共生活者」であること、
- 二、先人たちが育んできた「公共生活文化」の恩恵を受けていまを生かされていること、
- 三、「公共生活文化」は日常を潤すだけでなく、経済・社会の発展を根底で支えている貴重な資源であること、
- 四、この「貴重な資源」を後生世代へと伝えるのはわれわれ一人ひとりの使命であること、などです。

わが「公益財団法人 日本手工芸作家連合会」も「公共」的に有意味・有価値な存在であることを目指して今日まで活動して参りました。今後とも「公共生活文化」の伝統に即して精進して参りますので、会員のみなさまはじめご関係のみなさまのさらなるご理解とご支援を改めましてお願い申し上げます。

なお、今回はやむなく中止となりました「創作展」もいまのところ来年6月には従来同様に東京都美術館にて開催できる見通しでございます。二年分の想いが籠められた労作が多数ご応募いただけるものと期待いたしております。

コロナの第二波、第三波も懸念されています。昨今、最後になりますのみなさまのご自愛とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

審査委員長 大 矢 紀 (日本美術院同人)



2020年再興第105回 院展「大樹・五色八重咲散椿図」同人 大矢紀

人間社会では本当にいろいろな事が起こるものである。人間の生きて来た歴史はわかっているだけで約6～7千年位で、これは文化的な面を見た事である。考古学的見地から見ると人間同志、国家間の懲りもしない醜い争いによる民族間の抹殺、奴隷化、統合、植民地化を繰り返して来た。そう云う中でいまだにそれらがこの美しい小さな地球で行われている。本当に恥ずかしく困ったものである。一方ペスト、コレラ、スペイン風邪等々細菌やウイルスによる大流行により多数の死者も出ており世界中に恐怖をうえつけて来たが他方では医学もウイルス等との戦いの中で飛躍的に進歩して来た様に思う。

今回の新型コロナ禍によって人間社会のいろいろな構成構図が狂って来ている。さてそう云う中でどうしたものやら我等物づくりをする芸術家、創作家にとって発表する場が無くなる事は本当に身を切られる程つらい事である。生活する上で当然響きが出る。しかしただ考え様で、こう云う時間が有る時こそ、原点にもどって基礎的な事、先人達の仕事、他国の人達の作品等々スマホや本により勉強しようと思えば、いろいろ数かぎりなくあり、決して無駄にはならぬものである。そして人間としての心のあり様も変化して来る。それが自分自身の作品をすこしづつ確立させ研ぎすまして行く事になるものである。

芸術にとって作品の進歩と云う事はないが自己研鑽による変革は大いに役立つものである。

科学は一人一人の学者による研究の上につき重ねがあり、結果人間が月に行く事ができ宇宙を廻る人工衛星ともなる。芸術の場合にはつき重ねは無くオリジナリティもその作家が亡くなればその作品は継続される事もない。私個人で申し上げれば、どんな花でも一輪を一回描けば良いと云う事なく何年にもわたり表花、裏花、蕾み、葉一枚を描いている。その年によりそれらが微妙に違い又自然界の造形のすばらしさに常におどろかされるのである。それぞれの花は一輪でも創作する手工芸の上で基本の一助となる。

私が創作手工芸展の審査に関わって約10年程になりますが、関係作家の個々の作品はすばらしくユニークな作品に接する時、より多くの人々にその作品を是非見ていただけたらと切に思うものである。

せっかくの作品がもったいないのである。こう云う時節だからこそ作家の皆さん前を向いてがんばりたいものである。皆さんの次回の素晴らしいお作をたのしみにしている。

願わくば一日も早くコロナが終息する事を願ひそして皆様のご多幸を祈ります。

追伸 私の師 前田青邨先生は昭和52年に亡くなりましたがその当日まで小さなスケッチブックを手元において次の展覧会の下図の構想をねっておられました。92才でした。作家としてはこう有りたいものです。

## ●コロナとマスク文化

公益財団法人日本手工芸作家連合会評議員  
(安方クリニック)

蔵方宏昌



新型コロナウイルス感染症の大流行は、世界の感染者2600万人超、死者79万人超、日本の感染者7万人超、死者1300人超を出している。(9月4日現在) コロナ感染症の流行で生活は大きく変わってきた。なかでも真夏にマスクを着用していることは前代未聞の変化である。

マスクがウイルスの予防に効果があるか疑問視されていたが、日本などマスクをしている国が感染者を低く抑えられている実情を見て、アメリカCDC(疾病対策センター)とWHO(世界保健機関)が感染拡大予防にマスクを推奨した。

以来、マスク嫌いの欧米人もマスクをするようになり、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカなどの一部都市で、外出の時や公共交通機関を利用する際にマスク着用を義務づける条例を出した。違反者に罰金を科す地域もある。

マスクの織り目より小さなウイルスをマスクでは防げないという意見もあるが、実験などでも、感染予防に効果があることが実証された。

ウイルス自体は小さいが、ウイルスは唾液に多くあり、唾液の飛沫に乗って伝播することが分かった。唾液の飛沫に触れなければ感染を防げる。

最新のスーパーコンピューター「富岳」による実験では、不織布マスクとポリエステル製布マスクが8割、綿製布マスクは7割、飛沫を防ぐことが確認された。

日本でマスクをよく用いられるようになったのは、大正7年(1918)世界中に蔓延したスペイン風邪(流行性感冒、インフルエンザ)の時からといわれている。

近年まで綿とガーゼの布マスクが一般的だったが、コロナ流行でマスクが様々な素材で作られるようになった。使い捨ての不織布、ガーゼ布、綿布が多いが、ウエットスーツ、今治タオル、デニム生地、女性物下着(ブラジャー生地)などでマスクが作られるようになった。変わったところでは、漆塗りのマスク(福島県会津若松市)、東日本大震災の「奇跡の一本松」の木屑で作った布マスク(岩手県陸前高田市)がある。(図)

布マスクは、白・黒・ネズミ色という淡色だけでなく、様々な模様やメッセージ文字をプリントしたりして、マスク着用を楽しみ出した。近いうち、マスクと衣服を組み合わせたファッションショーが開かれるかもしれない。マスク文化の開花が始まったようである。



(図) 読売新聞 夕刊 2020年8月29日付

【略歴】東京都大田区生まれ 昭和大学医学部医学科卒 産婦人科助手 厚生年金病院産婦人科医長を経て安方クリニック開設現在に至る。 順天堂大学医史学研究室入室 医大で医学史、看護学部、医療専門学校で医学概論、外科学を講義。学会活動多数。医療関係、鐘馗像、カルタ等多くの資料収集、群馬県医師会資料館・津和野町立旧畑迫病院展示室へ展示資料提供・監修を行っている。

## ● コロナ禍における教育現場の現状について — 被服実習の取り組み —

公益財団法人日本手工芸作家連合会評議員  
(大妻女子大学 家政学部被服学科 教授)

大 網 美代子

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックに伴い、本学では5月7日からオンライン授業が開始した。12回中4回は実習授業もオンラインとなり準備を進めることとなった。その後、実験・実習の対面授業については、感染拡大の防止措置に留意しながら検討・調整が行われ、6月から最小限の対面授業を行った。被服実習で行っていた「被服理論について製作を通して理解する」「実践・気づき・工夫を通して思考する」などをどのようにオンラインで実施できるのか、ということが課題であった。

その課題について、オンライン実習の実践例を報告する。今後の対応を考える一助となれば幸いである。

「立体裁断」授業 受講者46名、4回目以降、体験実習ができるように受講者の環境を整えて全12回授業を行った。立体裁断法 (draping) は人台に直接布をあて、体型にそわせてゆとりや美的効果などを判断しながら裁断し、パターンを得る衣服造形の基本である。

### 1) 動画配信の視聴：造形の基本となるテーマ

「マスクをデザインする」「身近な立体をつつむ」「人形のからだをつつむ」「帽子をデザインする」という設定で、動画を視聴後、課題をデータで提出、リアルタイムによるZoomを使用した発表・評価を行った。

「マスクをデザインする」では、マスク不足を受けて身近な材料を使用して、顔の立体に合わせて構造を考える課題とした。提示例では、デコパージュに使用するペーパーナフキンで無縫製のたたみだけの簡単マスクを提示した。それを受けて、学生たちは素材・構造などを工夫して課題を行った。



立体裁断 マスク発表風景

### 2) リアルタイムによるZoomを使用したオンライン実習：毎回の課題をリアルタイムで師範を行い、実習、提出・点検コメントを行った。また、毎回画像にポイントの解説をつけフィードバックをして復習資料とした。最終課題は自由創作として、各自がデザインをしたワンピースのドレーピングを行った。



立体裁断 授業の様子

オンライン授業では動画配信をすることで、内容がわかりやすくなり、リアルタイムの効果としては、観察をすること、作業に集中することができ、布をどのように動かしたらよいか向き合うことができた点が挙げられる。実習では、その内容と環境により対応は様々である。後期「アパレル製作」の授業では、ミシン実習が必修であるが環境に合わせて、より効果的で効率的な実習スタイルを検討していきたい。

最後に、「手工芸」の「縫う・刺す・編む・組む・織る」の手法は、特別な設備がなくとも、どのような状況下でも、その手法を伝え、その技術とそれぞれの感性を活かした「ものづくり」ができると思う。

## ●「21世紀 アートボードレス展JAPAN」あだち三和子のエッグアート展示

東京都 代官山エッグアートスタジオ あだち三和子

会期：2019年11月28(木)～12月7日(土) 12月3日(火) 休館

会場：国立新美術館 展示室3A

縁あって国立新美術館の壁面14mを自由に飾るご依頼を受けて今回の展示が実現しました。中央に宇宙空間をイメージしたインスタレーションの新作「Milky Way」を配置し、左から人の営みを現す作品群、中央に新作「光彩燈—仄か」、



会場風景



会場風景

「悠久の時間（とき）」を飾り、右には和のテイストの作品群でまとめて一つの物語的なストーリーを展開しました。

今後もタマゴの殻を通してあだち三和子の世界を表現したいと思っています。

## ●福田桜シャドーボックス個展

神奈川県 シャドーボックス教室 アートコテージ 福田桜

会期：2020年9月30日(水)～10月6日(火) 10:00～20:00

最終日16:00まで休館日なし 入場無料

会場：横浜そごう9F ギャラリーダダ（神奈川県横浜市、横浜駅直結）



DM

今まで制作した作品は大小合わせて約200点。公募展での入賞は4回になります。今回の個展では、受賞作はじめ大小さまざま数十点展示いたします。

シャドーボックスは、厚紙のプリントをカットし層を重ねることで立体に表現するアートですが、特に私の制作のこだわりはパーツの繊細さと配置のバランスです。1ミリ幅の草を切り出して生い茂らせた作品「横浜赤レンガ倉庫」。北斎の「神奈川冲浪裏」の迫りくる浪の表現もまた見どころです。まだまだ知らない人が多いジャンルですので、広く普及につとめたいと思っています。



展示風景

## ●第28回 創作手描友禅 猪股洋子と華の会作品展

岡山県 猪股洋子

会期：2019年10月24日(木)～10月26日(土) 9:00～18:00

会場：倉敷物語館

県内外のみならず、海外からも多くの方にご来館いただきました。「色彩豊かで繊細な作品」と賞賛していただき、私たちも大きな励みになりました。今後もしライフワークとして、一層の精進をして参ります。



DM



展示作品

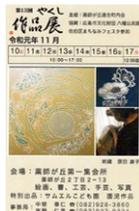
## ●「第13回 やくし作品展」 ハーダンガー刺繍

広島県 原田教室 原田泰子

会期：2019年11月10日(日)～17日(日)

会場：広島市文化財団八幡公民館

広島市植物公園に隣接する団地「薬師が丘」色々な分野で励んでいらっしゃる方々から声上がり、作品を集めて拝見しましょうと言う事になり、団地の集会所で年1度の「薬師が丘作品展」が始まりました。回を重ねるごとに遠方からご来観の方も多くなっています。今秋は第14回となります。私共のグループも初回から参加し、毎年励みにさせていただいております。



DM



展示作品

## ●梅支部だより

福岡県 梅支部 田中ひとみ

### 1. 「第27回創作手工芸 梅支部展」(九州)

会期：2019年10月16日(水)～20日(日)

会場：NHK福岡放送センタービル  
NHKギャラリー

### 2. 「第25回手作りフェア in 九州」

会期：2020年2月21(金)・22(土)

会場：マリンメッセ福岡



第27回創作手工芸  
梅支部展 DM



第25回手作りフェア  
会場風景

\*「第28回創作手工芸 梅支部展」(九州)は中止となりました。

## ●リモートへの試み シャドーボックス

千葉県 アトリエReo アート教室 石田則子

シャドーボックスのお教室も自粛し、新しい様式を模索する中、リモートでお教室を致しました。パソコンやiPadをそれぞれが使いながら手を撮し、カードを切る作業や重ねる指示など初の試みでした。生徒の皆様が現状の作品と向かい合い、ご自分の考えで手順を纏めることができた事。色々な作品を創るきっかけにもなりました。リモートもまた一つの手段として活用して行く時代なのかと改めて思う次第です。

また、お稽古場の再開に向け、手作りのアクリル板設置など感染予防の対策を行いました。長い自粛も、手工芸が私にとって大切な物であり、好きな分野で過ごせた日々でした。

コロナの終息には長い年月がかかるでしょうが、自分を見失うことなく、ポジティブに邁進して行きたいと思っております。



手作りアクリル板  
設置



作品制作風景



教室風景

## ●第2回「作品展示チャリティ即売会」開催

令和2年1月11日、12日（半日）に越前屋ビル8階手芸教室で開催されました。今年で2回目となった当催事は、第52回展で「特別展示」されたMORA（モラ）をはじめ会員の方々の織・染・刺繍・縫い・その他、の力作が展示されチャリティならではの価格で販売されました。

ご来場のお客様から「来て良かった」というお言葉をいただきました。

当催事は会員の方々を支援する目的で企画されたものです。皆様の出品参加をお待ちしています。

売上金は諸経費を除き東日本大震災（福島県）と当連合会への寄附とさせていただきます。

令和3年1月につきましては新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止とさせていただきます。



会場風景

## ●会員有志によるマスク製作と寄贈

2020年4月、コロナウイルス感染症の広がりを危惧する中、（公財）日本手工芸作家連合会評議員 蔵方宏昌医師からご提案と材料費等のご寄付をいただき、洗える布マスク製作に会員有志延べ24名が参加しました。

皆が思いを込めて製作したマスクは、社会福祉法人とご縁が繋がり、6月「友愛十字会」へ179枚、7月「愛成苑」へ220枚を寄贈、皆様に使って頂くことができとても嬉しく思っております。

今回製作したマスクは、プリーツ型と立体型2パターン、白ガーゼと各自手元にある木綿プリント布など、バリエーション豊かで選ぶのも楽しいマスクが出来上がりました。

一部ですが真夏の暑さに向け、保冷剤入れポケット付きをそれぞれが工夫して作る場所も本会会員らしいところです。そしてマスクは蔵方医師のご指導により、すべて紫外線滅菌を行いました。

今回、友愛十字会と愛成苑の皆さんと手作りマスクでつながりました。

創作手工芸展への作品出品、展示作品の鑑賞等で交流できましたら幸いです。

これからもボランティア活動を継続して、手工芸で社会の役に立つことを行っていきたくと思います。会員の皆様にご協力を頂きたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



愛成苑の皆さん

友愛十字会の皆さん



紫外線滅菌機（蔵方先生）

## ●講習会

◇ 公益財団法人日本手工芸作家連合会では、手工芸に関する調査研究、知識・技術の普及・向上を目的とした教育活動の一環として、毎月第2土曜日に（年10回）各種講習会を開催しています。

会場は東京駅に近い京橋越前屋ビル（8階）及び1月のみは（株）クロバー東京営業所となっておりますが、本年3月以降10月までは新型コロナウイルス感染リスク回避のために開催を中止いたしました。

11月以降の予定等につきましては下記記事をご高覧下さい。

### 2019年10月～2020年3月

第6回 R1.11/9(土)  
コットンボールモコモコXmasリース  
佐久間恭子



第7回 R1.12/14(土)  
クラフト正月飾り  
池田節子



第8回 R2.1/20(月)  
タティングレース  
濱田昌世



第9回 R2.2/8(土)  
スタンプワーク  
福留理恵子



第5回 R1.10/12(土)  
台風19号接近により中止

第10回 R2.3/14(土)  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止



越前屋8F 作品制作風景



越前屋8F 講習会風景



クロバー営業所 講習会風景

### 2020年4月～2021年3月

第1回～第6回までは新型コロナウイルス感染症の影響により中止（4月～10月）

第7回 11月14日(土)開催予定“木の実いろいろ Xmas リース”  
10：30～15：00（越前屋8F）

詳細はホームページ及びメールでご案内いたします。

第8回～第10回 状況次第ですが開催の有無はホームページ上及び事務局へお問い合わせください。



木の実いろいろ Xmas リース

## ご寄付並びにご支援有難うございました

株式会社越前屋 様

株式会社九電工 様

清水建設株式会社 様

ダイダン株式会社 様

大和総合印刷株式会社 様

ディー・エム・シー株式会社 様

株式会社パリス 様

前田建設工業株式会社 様

ヤマ産業株式会社 様

(アイウエオ順)

コロナ禍のなかにもかわりませず各社様には例年通り多額のご寄付並びにご支援を頂きまことにありがとうございました。

当 日本手工芸作家連合会 におきましてはわが国手工芸文化のいっそうの発展・向上に引き続き努力を傾注してまいりますので今後とも変わらぬご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 日本手工芸作家連合会  
会 長 花 村 邦 昭

### ●【第206号 SOUSAKU の表紙掲載作品について】

今年はコロナ禍により創作手工芸展自体が開催されなかったため、例年のように本誌の表紙に最高位受賞作品を掲載することが出来ませんでした。これに代わって前回展（第52回展）で昭和という時代を想起させた作品群としてご来場者の共感と呼んだ特別出品作品6点を掲載させていただきました。

(作者名は上段左から 花村 フジヨ、小山 泰子、中村 稔子  
下段 塚本 順、清水 千治、大越 りき の各氏)

## ホームページ掲載についてのご案内

かねてより、当連合会のホームページの充実に取り組んでおりましたが、中でもリニューアルしたページが、支部・教室の紹介です。掲載は今年度よりご案内（公開）しております。今後は単独（個人）会員、皆様のホームページとして活用していただければと思います。掲載希望の方は事務局へご相談ください。

これからもホームページの充実に向けて、皆様のご協力をお願いいたします。どうぞ一度閲覧してみてください。

URL <http://www.syukogei-sakka.or.jp>



ホームページトップ画像

## 支部・教室 紹介 (1 所在地 2 ジャンル 3 教室・活動等 4 連絡先住所 電話番号 メールアドレス 等)

### ● 梅支部 支部長 田中ひとみ

- 1 福岡県
- 2 パッチワーク 刺繍 編物  
籐工芸 七宝焼き ガラス造形
- 3 年1回合同創作手工芸展  
手作りフェア in 九州 アーティストコーナーに出展
- 4 福岡県飯塚市楽市 106 tel 0948-24-3171



### ● 松濤支部 支部長 松本志津美

- 1 東京都・神奈川県・愛知県
- 2 刺繍（スモッキング刺繍）
- 3 東京都：渋谷原宿 大田区蒲田  
神奈川県：横須賀 鎌倉  
愛知県：名古屋
- 4 shizushichiri@yahoo.co.jp



### ● アトリエ Reo 教室長 石田則子

- 1 千葉県
- 2 シャドーボックス
- 3 本部 市川大野教室（デコルテ 25）  
市川市東部公民館教室  
行徳公民館教室
- 4 no25decorte@gmail.com



### ● 今岡教室 教室長 今岡桂子

- 1 広島県
- 2 刺繍（日本刺繍）
- 3 NHK 文化センター広島教室  
第1・3木曜 10時～12時
- 4 広島市中区三川町2-10 愛媛ビル3階



### ● 木庭教室 教室長 木庭慶子

- 1 東京都
- 2 刺繍（欧風刺繍）
- 3 世田谷教室
- 4 tel 03-3410-4842



### ● 土門教室 教室長 土門玲子

- 1 山形県
- 2 遊佐刺し子とパッチワークの  
コラボレーション
- 3 教室本部  
飽海郡遊佐町遊佐字京田 109-8
- 4 itomaki@crocus.ocn.ne.jp



### ● 原田教室 教室長 原田泰子

- 1 広島県
- 2 刺繍（ハーダंगाー、欧風 他）
- 3 13年連続して薬師が丘展示会に参加
- 4 連合会事務局へお問い合わせください



### ● フラワーデザイングループ リビエール 教室長 片山理恵子 木嶋真理子

- 1 東京都
- 2 フラワーデザイン他
- 3 直営教室 本部吉祥寺校
- 4 riviere@world.email.ne.jp



## ●(公募)第54回創作手工芸展のご案内

会 期：令和3年5月29日(土)～6月4日(金)

会 場：東京都美術館ギャラリーC

募集期間：令和3年2月17日(水)～5月8日(土)

・ギャラリートーク：5月30日(日) 13：30～14：00 チャリティバザー：会期中同時開催

## ●資格取得者へのおすすめ

当連合会は、手工芸文化の普及発展を目的として、手工芸指導者の養成教育に資する各種の資格認定・免状授与を行うと共に、同資格取得者を手工芸セミナーの指導者、社会教育における中学校・高等学校での指導者、生涯教育における指導者といった形で派遣することを通じて、さまざまな手工芸分野における活動の助成と技術の向上に貢献しております。手工芸に関心をお持ちの方は、各地の当連合会支部・教室で技術の習得に励まれ、生涯学習の宝ともいえるべき資格取得に挑戦なさってみてはいかがでしょうか。

## ●資格免状取得者

資格名	資格者氏名	科目	資格名	資格者氏名	科目
普通科*	内田 亜由美	ハーダンガー刺繍	講師	福田 桜	シャドーボックス
普通科*	加藤 理香	ハーダンガー刺繍	講師	船崎 里美	フラワーデザイン・シェーネアルバイテン
普通科	小川 紀代美	フラワーデザイン・シェーネアルバイテン	講師	本山 操	フラワーデザイン・トール & デコラティブペインティング
高等科*	内田 亜由美	ハーダンガー刺繍	講師	吉田 真理子	フラワーデザイン・シェーネアルバイテン
高等科*	加藤 理香	ハーダンガー刺繍	講師	吉田 麻利子	フラワーデザイン・シェーネアルバイテン
講師	内田 亜由美	ハーダンガー刺繍			

(※印 令和元年9月認定)

## ●新入会員紹介 (令和元年10月～令和2年9月、敬称略、17名)

富塚 玲子 (山形県) 難波セツ子 (岡山県) 老田 晴美 (岡山県) 片山 悦子 (岡山県)  
 今井恵美子 (岡山県) 細川美和子 (岡山県) 宗田 孝子 (岡山県) 大井美智子 (岡山県)  
 渡邊 延江 (長野県) 鞠子 京子 (山形県) 川崎美恵子 (岡山県) 原 ふみ子 (岡山県)  
 片山 裕子 (岡山県) 石床 香織 (香川県) 塩出 和恵 (岡山県) 本山 操 (神奈川県)  
 小川紀代美 (東京都)

## ●理事の紹介 令和2年度の役員はホームページに公表しています。

### ●次回発刊予定のご案内

次回 SOUSAKU 207号 (創作手工芸) の発刊は令和3年10月を予定しております。

発行日/2020年10月吉日  
 発行/公益財団法人日本手工芸作家連合会  
 〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町3-6-10  
 MOビル407号室  
 TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140  
 E-mail:info@syukogei-sakka.or.jp  
 URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/

### 編集後記

当連合会の運営は会員の皆様からの会費、ご寄附により支えられています。手工芸の世界に関わっておられる皆様、愛好家の皆様、これからもご支援のほどお願い申し上げます。